

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-134168

⑬ Int.Cl.⁴

G 07 B 1/00
G 07 F 9/00

識別記号

1 1 2

庁内整理番号

E-7347-3E
6727-3E

⑭ 公開 昭和62年(1987)8月24日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 カロリ表示付印字式食券売機

⑯ 実 願 昭61-22501

⑰ 出 願 昭61(1986)2月18日

⑱ 考 案 者 渡 辺 収 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号
⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 考案の名称

カロリー表示付印字式食券売機

2. 実用新案登録請求の範囲

印字式食券売機において、入力キーとしてカロリーキー、カロリー登録キーを、またRAMにカロリーデータファイルを設け、前記キーにより各料理品目につきカロリーデータを前記ファイルに登録格納しておき、食券購入の際に注文料理の食券にカロリーデータが表示されて印字されることを特徴とするカロリー表示付印字食券売機。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、食堂などで、注文しようとする料理の食券を発売する食券売機に関する。

〔従来の技術〕

従来、食券売機は食券に料理名・金額・(数量)のみを印字するだけで、食券は単にお客に料理が渡されるときに割符の役目をしているにすぎ

ない。したがって、食堂側にとっては売上の計算などに利用されるが、お客は特別に食券に注意を払うこともなかった。

〔考案が解決しようとする問題点〕

最近、健康保持・健康管理に気を使う人が多くなつた。食事の際のカロリー計算は健康管理上重要な要素であるが、専門の栄養士は別として、一般の人は食事するその料理が何カロリーか即座に計算することは困難である。そこで、注文した料理が何カロリーであるか食券に附加的に印字するようにすれば、一般の人の健康管理に役立つことが多い。食券は、お客側にも有益な情報を考えることとなりサービス向上になる。

本考案の目的は、上記の事情に鑑み、食券にカロリー表示が印字されるようにした食券売機を提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案の食券売機は、入力キーとしてカロリーキー、カロリー登録キーを、またRAMにカ

カロリーデータファイルを設け、前記キーにより各料理品目につきカロリーデータを前記ファイルに登録格納しておき、食券購入の際に注文料理の食券にカロリーデータが表示されて印字されるようにしたものである。

〔実 施 例〕

以下、図面を参照して、本考案の一実施例につき説明する。第1図は、本考案の基本構成を示すブロック図である。キー入力部1、制御部2、ROM部3、RAM部4、演算部5、表示部6、印字部7とを示している。券売機としては、投入金を処理する検知部、硬貨収納部、釣銭機構部など現物の硬貨を取扱う部分があるが、本考案では食券の処理のみに関するので、これには図示していない。キー入力部1には、通常の券売機における料理品目キー、数値キー、金額キーなどの他に、専用キー1aとしてカロリーキー、カロリー登録キーを設けてある。またRAM部4には、カロリーデータを料理品目別に格納するカロリーデータファイル4aを特別に

設ける。

キー入力部 1 のキーがおされると、制御部 2 が R O M 部 3 を出力命令でよびだし、入力されたキーを判読し、対応したデータ処理を演算部 5、R A M 部 4 で行なわしめ、一旦その結果を R A M 部 4 に設定登録し、R A M 部 4 に登録されたデータを呼出し、表示部 6 に表示し、印字部 7 で食券に印字出力させる。

本考案では、専用キー 1 a としてカロリー登録キーとカロリーキーとがキー入力部 1 に設けられ、これを利用して R A M 部 4 のカロリーデータファイル 4 a に料理品目別にカロリーデータを記録させる（登録処理）。この登録処理がなされると、お客が注文の料理品名のキーを押すことによつて、食券に従来の表示項目の他に注文料理のカロリーが特別に付加印字されて出力する。

第 2 図に具体的に、本考案の券売機における登録処理、発券処理を示してある。先ず第 2 図 (a) の登録処理につき手順番号に従い説明する。

カロリーキーを押してRAM部4のカロリーデータファイル4aを指定し、表示部6はカロリー登録モードのKcalの表示を行う。料理品名キーのうち「ラーメン」を押すことでカロリーデータファイル4aのラーメン登録番地(010番地)を指示し、表示はラーメンとする。次に数値キーから「5」「6」「0」と入力して表示は新たに560と加わる。この時点でラーメン560Kcalを確認後、カロリー登録キーで初めてカロリーデータファイル4aに560の数値が設定され、登録されたことを示す登録表示が点灯し、ラーメンのカロリー登録を完了する。他の料理名であつても同様な手順で登録を繰返すことができる。

次に発券処理につき第2図(b)により説明する。料理品名キーのうち「ラーメン」を押すと、表示部6にラーメンと点灯し、印字データとしては従米のラーメン350円印字の他に、カロリーデータファイル4aの010番より呼出した560の数値を演算部5で印字データに変換し、

カロリーデータを追加して印字出力し、発券処理を終わる。

〔 考案の効果 〕

以上説明したように、本考案は食券に料理品名、金額に続き、カロリー印字を行なうことにより、従来一般的であつた食券の概念に新たにカロリーデータを情報として提供することで、お客の健康管理サービスを行なうことが出来るという効果がある。食事制限している人に対するサービスとしてはうつつつけである。

また、この種の情報はプライベートな要素が大きいが、食券を買つた人のみが所有できる情報であるので、この点でも利点がある。食堂としては、お客の信頼感が高まり、宣伝としても大きな利点となる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例の構成ブロック図、第2図は本考案に係る券売機の操作手順を示す図である。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1 … キー入力部、 | 1 a … 専用キー（カロリー表示用）、 |
| 2 … 制御部、 | 3 … R O M 部、 |
| 4 … R A M 部、 | 4 a … カロリーデータファイル、 |
| 5 … 演算部、 | 6 … 表示部、 |
| 7 … 印字部。 | |

実用新案登録出願人

日 本 電 気 株 式 会 社

代 理 人

弁理士 内 原 普

図 1

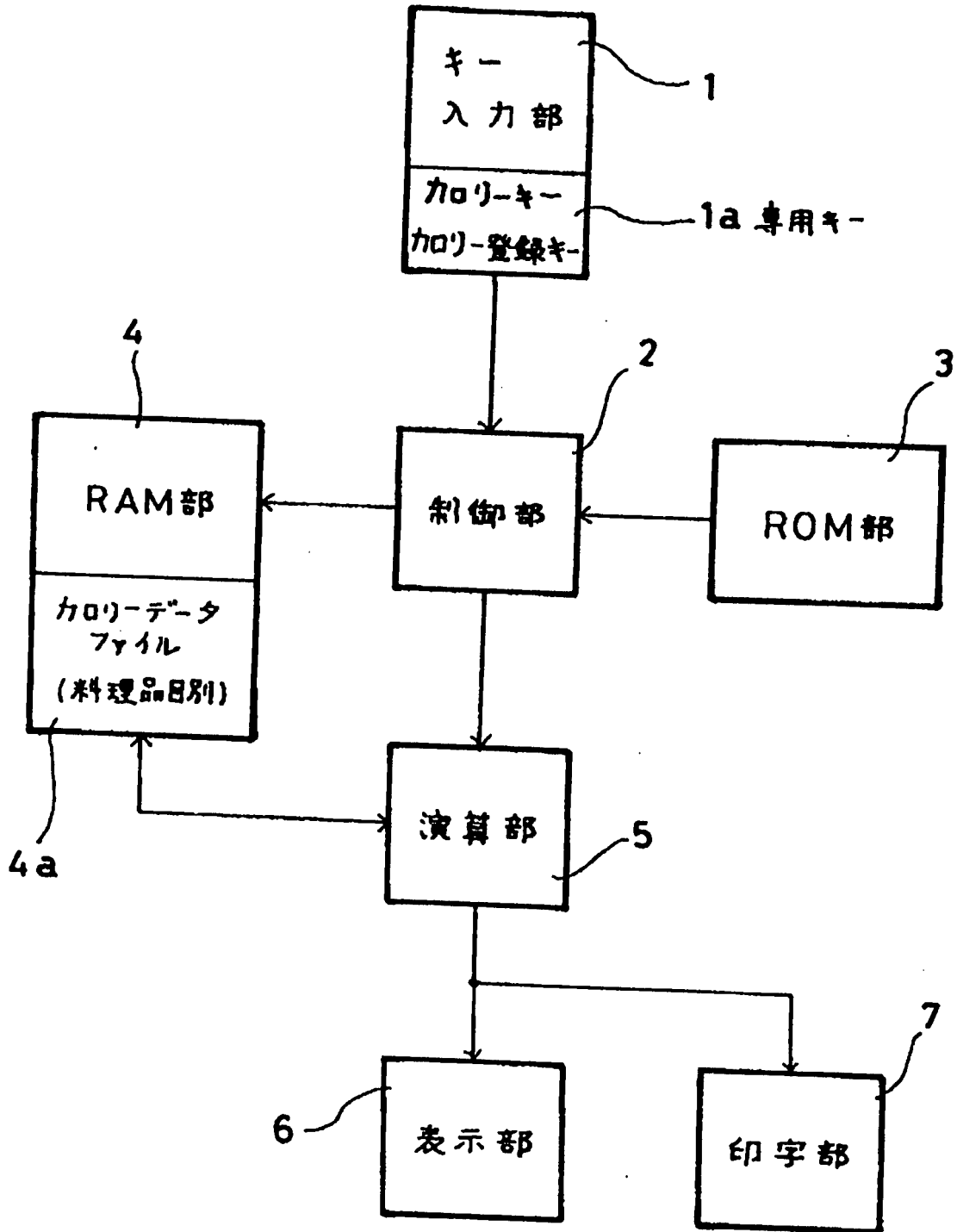


図 2 例

(a)

手順	キー操作	表示	カロリーデータファイル アドレス	内容
1	カロリー	Kcal		
2	ラーメン	ラーメン Kcal	010	
3	560	ラーメン 560 Kcal		
4	登録	"R" ラーメン 560 Kcal	010	560

	キー操作	表示	印字
(b)	ラーメン	ラーメン	ラーメン 350円 560 Kcal